

第21回 関西チアリーディング選手権大会 出場



第21回 関西チアリーディング選手権大会 関西地区予選

「FIGHT」

「WIN」

記者：中西 龍平

記者「松風さんは黒川さんに大変期待されておられるんですね。では、黒川さんへアドバイスがございましたらお聞かせ下さい。」

黒川氏「豊泉家MORA1第4章第4条「トライアル&エラー」そして名譽挽回でもう一度の理念を持ち、知恵・情熱&スピードを業務に取り組み、ご利用者へ家族スタッフから愛されるような人物になっていただきたい。」

記者「上司の松風さんから具体的な人物像を聞くことができ、黒川さんがお互い大変さは共有できるものがあると思います。そのため互いに支えあい、助け合いがはばばいていきます。」

記者「黒川さん、松風さんありがとうございます。」

記者「黒川さん、松風さんありがとうございます。」

黒川氏「良い意味で裏切られましたが、まだ失敗も多い日々ですが、そのたびに周りの方が私を気にかけて下さり、こんなに温かい環境だと入社前には想像していませんでした。」

記者「近年、大卒者の就職内定率が低迷しております。そのなかでも恵まれた環境で働けるのは大変良い社会経験となるのではないのでしょうか。次に松風さんにお聞きします。黒川さんに望んでいる人物像はなんですか。」

松風氏「特養の生活相談員として、松風氏「私はケアワーカーとして業務に携わっています。ケアワーカーの役割としては、日常的な介護業務や、心理的なケアがあります。コミュニケーションをとり、話を聞いてあげたりすることで、心理的に安定した生活を送れるように知識・技術・コミュニケーション能力・判断力が必要不可欠です。」

記者「詳しいご説明ありがとうございます。次に黒川さんにお聞きします。今後担当してほしい業務はどのようなことがありますか。」

黒川氏「勤務して2ヶ月程度なので、まずは毎日の業務を正確にこなして「ホウレンソウ」を意識して業務に集中してほしいです。そして、将来的には食事係・排泄係などの係を担当していただきたいと考えています。」

記者：小央 悟史

6月17日、大阪府立体育会館で開かれた第21回関西チアリーディング選手権大会兼日本選手権地区予選で「豊泉家北緑丘」チアリーディングクラブ「FRONTIERERS」が「FRONTIERERS」が昨年到现在に続いてエキシビジョン演技を披露。感動を誘って喝采を浴びました。

メンバーは最高齢90歳をはじめ80代の入居女性7人。日々の練習ではそこに、入居者家族の女性1人と、クラブ発足に力を貸し、発足直前の発病で自らも車いす生活になつてデイサービスに通う福本絳梅花女子大学名誉教授が黒1点として加わる。

「FRONTIERERS」の結成は2010年10月。「高い目標を持つことで、車いすの入居者に刺激を与えられるのではないかと考えた。指導はチアリーディングではトップクラスの梅花女子大学(茨木市)福本絳教授から同大学チーム「RAIDERS」の顧問で、日本チアリーディング協会関西連盟副理事長の三浦忠子名誉教授を紹介されてアドバイスを受け、ホームでも実演もしてもらっている。

それを見る入居者たちの生き生きとした表情。現在は三浦教授の教え子で同大学職員

Housenka Community Club since 2001.1.1

HCC TIMES

Vol.109
2012 7

http://www.sg-h.com

HOUSENKA COMMUNITY CLUB

豊泉家

豊泉家コミュニティクラブ
H.C.C.
NPO SOCIAL WORKS GROUP HAKUTEKI

NPO法人 SG博友会
〒560-0085 豊中市上新田3丁目10番35号
TEL:06-6444-3030 FAX:06-6444-3554
編集元 H.C.C事務局 佐々木義治

6月17日、大阪府立体育会館で開かれた第21回関西チアリーディング選手権大会兼日本選手権地区予選で「豊泉家北緑丘」チアリーディングクラブ「FRONTIERERS」が「FRONTIERERS」が昨年到现在に続いてエキシビジョン演技を披露。感動を誘って喝采を浴びました。

メンバーは最高齢90歳をはじめ80代の入居女性7人。日々の練習ではそこに、入居者家族の女性1人と、クラブ発足に力を貸し、発足直前の発病で自らも車いす生活になつてデイサービスに通う福本絳梅花女子大学名誉教授が黒1点として加わる。

「FRONTIERERS」の結成は2010年10月。「高い目標を持つことで、車いすの入居者に刺激を与えられるのではないかと考えた。指導はチアリーディングではトップクラスの梅花女子大学(茨木市)福本絳教授から同大学チーム「RAIDERS」の顧問で、日本チアリーディング協会関西連盟副理事長の三浦忠子名誉教授を紹介されてアドバイスを受け、ホームでも実演もしてもらっている。

それを見る入居者たちの生き生きとした表情。現在は三浦教授の教え子で同大学職員

記者「黒川さん、松風さんありがとうございます。」

黒川氏「良い意味で裏切られましたが、まだ失敗も多い日々ですが、そのたびに周りの方が私を気にかけて下さり、こんなに温かい環境だと入社前には想像していませんでした。」

記者「近年、大卒者の就職内定率が低迷しております。そのなかでも恵まれた環境で働けるのは大変良い社会経験となるのではないのでしょうか。次に松風さんにお聞きします。黒川さんに望んでいる人物像はなんですか。」

松風氏「特養の生活相談員として、松風氏「私はケアワーカーとして業務に携わっています。ケアワーカーの役割としては、日常的な介護業務や、心理的なケアがあります。コミュニケーションをとり、話を聞いてあげたりすることで、心理的に安定した生活を送れるように知識・技術・コミュニケーション能力・判断力が必要不可欠です。」

記者「詳しいご説明ありがとうございます。次に黒川さんにお聞きします。今後担当してほしい業務はどのようなことがありますか。」

黒川氏「勤務して2ヶ月程度なので、まずは毎日の業務を正確にこなして「ホウレンソウ」を意識して業務に集中してほしいです。そして、将来的には食事係・排泄係などの係を担当していただきたいと考えています。」

記者：小央 悟史

市民総合センタークリエイトセンターにて第6回NEXT DOOR未来を語る会を開催しました。

本日はゲストにSF豊泉家経営戦略室より笹倉本部長、豊泉家コミュニティクラブより大神事業部長に来て頂きました。今回も自己紹介、パイオデータの紹介、田中会長と事務局への質問と進んで行きました。

質問内容は「今後のほうせんか病院について」や「会長の趣味は？」などざくばらんな質問もあり終始和やかなムードで会長とスタッフが気軽に話せる場になりました。

記者の私が一番印象に残ったのが「ホスピス」の問題について真剣に語って頂いたことです。「ホスピス」とは、終末期のことであり、終末期医療および看護のことです。延命処置を中心に処置するのではなく、患者の身体的苦痛や精神的苦痛を取り除き、生活の質の向上を図る治療をする施設のことです。

「ホスピス」は看護師の中でも、認知はしているが詳しく知らない方が多かったのが私の第一印象です。「ホスピスは通常の看護とは視点が違う

ので、通常の看護師の方は知らない方も多いようです。その中、「精神的負担が多くなる大変さそうなイメージ」と発表されている人がおりました。「ホスピス」は終末期の患者ばかりですので、入院後約1ヶ月半でお亡くなりになる事が多く、その都度精神的な負担になるからです。

私は「ホスピス」がQOLの部分から見ると、とても良いものと考えていましたが、医療現場の視点で考えると、とても精神的負担が多い仕事をして頂いているのだなと改めて考えさせられました。

未来を語る会も常連の人も増え、討論内容も濃い物になってまいりました。今後HFCとして、明日の「ほうせんか病院」につながる会に少しでも近づけられるように頑張ります。

記者：中西 龍平

先日、2013年度新卒採用の第6回最終面接試験に司会として参加いたしました。面接官は阿久根運営本部長、松浦管理本部長で、面接受験者は1次試験の書類選考、2次試験の筆記試験及び面接試験を突破した学生でした。

この日の面接受験者は3名で、さすが最終面接、かなりの緊張感が伝わってきました。開始の挨拶が終わった後、松浦本部長から学生に対して面接が開始されました。

面接では社会や仕事に対する心構え、学生生活の経験に対しての問いかけ、受け答えのキャッチボールを繰り返すことで次第に緊張もほぐれていったように感じました。

続いて阿久根本部長の面接では、豊泉家の質・スタッフの質を高めていくということから話を切りだし、福祉や医療の専門的な質問が展開されました。受験者の中には福祉学科の学生もいたことから、返答に対してさらに突っ込んだ質問をされながらも自分の言葉で的確に考えを伝えるという場面も見られました。

今回の面接試験と同席しました、学生に対して求めるレベルの高さを改めて認識できました。新卒で入職されるスタッフは、将来の豊泉家を担うスタッフとして、これから更にレベルアップしてもらいたいと思います。

安定した数の学生に最終面接へ進んでもらうためには、1次試験や2次試験の受験者を増やしていく必要があるよう、採用活動に励んでいきたいと思っております。

記者：北川 晶大



松風 結己さん(左) 黒川 智史さん(右)

記者「黒川さん、松風さんありがとうございます。」

黒川氏「良い意味で裏切られましたが、まだ失敗も多い日々ですが、そのたびに周りの方が私を気にかけて下さり、こんなに温かい環境だと入社前には想像していませんでした。」

記者「近年、大卒者の就職内定率が低迷しております。そのなかでも恵まれた環境で働けるのは大変良い社会経験となるのではないのでしょうか。次に松風さんにお聞きします。黒川さんに望んでいる人物像はなんですか。」

松風氏「特養の生活相談員として、松風氏「私はケアワーカーとして業務に携わっています。ケアワーカーの役割としては、日常的な介護業務や、心理的なケアがあります。コミュニケーションをとり、話を聞いてあげたりすることで、心理的に安定した生活を送れるように知識・技術・コミュニケーション能力・判断力が必要不可欠です。」

記者「詳しいご説明ありがとうございます。次に黒川さんにお聞きします。今後担当してほしい業務はどのようなことがありますか。」

黒川氏「勤務して2ヶ月程度なので、まずは毎日の業務を正確にこなして「ホウレンソウ」を意識して業務に集中してほしいです。そして、将来的には食事係・排泄係などの係を担当していただきたいと考えています。」

記者：小央 悟史

記者「黒川さん、松風さんありがとうございます。」

黒川氏「良い意味で裏切られましたが、まだ失敗も多い日々ですが、そのたびに周りの方が私を気にかけて下さり、こんなに温かい環境だと入社前には想像していませんでした。」

記者「近年、大卒者の就職内定率が低迷しております。そのなかでも恵まれた環境で働けるのは大変良い社会経験となるのではないのでしょうか。次に松風さんにお聞きします。黒川さんに望んでいる人物像はなんですか。」

松風氏「特養の生活相談員として、松風氏「私はケアワーカーとして業務に携わっています。ケアワーカーの役割としては、日常的な介護業務や、心理的なケアがあります。コミュニケーションをとり、話を聞いてあげたりすることで、心理的に安定した生活を送れるように知識・技術・コミュニケーション能力・判断力が必要不可欠です。」

記者「詳しいご説明ありがとうございます。次に黒川さんにお聞きします。今後担当してほしい業務はどのようなことがありますか。」

黒川氏「勤務して2ヶ月程度なので、まずは毎日の業務を正確にこなして「ホウレンソウ」を意識して業務に集中してほしいです。そして、将来的には食事係・排泄係などの係を担当していただきたいと考えています。」

記者：小央 悟史

記者「黒川さん、松風さんありがとうございます。」

黒川氏「良い意味で裏切られましたが、まだ失敗も多い日々ですが、そのたびに周りの方が私を気にかけて下さり、こんなに温かい環境だと入社前には想像していませんでした。」

記者「近年、大卒者の就職内定率が低迷しております。そのなかでも恵まれた環境で働けるのは大変良い社会経験となるのではないのでしょうか。次に松風さんにお聞きします。黒川さんに望んでいる人物像はなんですか。」

松風氏「特養の生活相談員として、松風氏「私はケアワーカーとして業務に携わっています。ケアワーカーの役割としては、日常的な介護業務や、心理的なケアがあります。コミュニケーションをとり、話を聞いてあげたりすることで、心理的に安定した生活を送れるように知識・技術・コミュニケーション能力・判断力が必要不可欠です。」

記者「詳しいご説明ありがとうございます。次に黒川さんにお聞きします。今後担当してほしい業務はどのようなことがありますか。」

黒川氏「勤務して2ヶ月程度なので、まずは毎日の業務を正確にこなして「ホウレンソウ」を意識して業務に集中してほしいです。そして、将来的には食事係・排泄係などの係を担当していただきたいと考えています。」

記者：小央 悟史

記者「黒川さん、松風さんありがとうございます。」

黒川氏「良い意味で裏切られましたが、まだ失敗も多い日々ですが、そのたびに周りの方が私を気にかけて下さり、こんなに温かい環境だと入社前には想像していませんでした。」

記者「近年、大卒者の就職内定率が低迷しております。そのなかでも恵まれた環境で働けるのは大変良い社会経験となるのではないのでしょうか。次に松風さんにお聞きします。黒川さんに望んでいる人物像はなんですか。」

松風氏「特養の生活相談員として、松風氏「私はケアワーカーとして業務に携わっています。ケアワーカーの役割としては、日常的な介護業務や、心理的なケアがあります。コミュニケーションをとり、話を聞いてあげたりすることで、心理的に安定した生活を送れるように知識・技術・コミュニケーション能力・判断力が必要不可欠です。」

記者「詳しいご説明ありがとうございます。次に黒川さんにお聞きします。今後担当してほしい業務はどのようなことがありますか。」

黒川氏「勤務して2ヶ月程度なので、まずは毎日の業務を正確にこなして「ホウレンソウ」を意識して業務に集中してほしいです。そして、将来的には食事係・排泄係などの係を担当していただきたいと考えています。」

記者：小央 悟史

第22回SF豊泉家ボウリング大会を迎えましたボウリング大会ですが、今回は総勢77名の方にご参加いただきました。外部企業の皆様にもたくさんご参加いただき、非常に白熱した大会となりました。

その中でも全員が男女ごとの上位8位以内という拔群のチームワークで、りそな銀行の西村様と山本様、営業本部の村野ソーシャルワーカー、桃山台コミュニティの石川キヤブテンチームが見事優勝を勝ち取りました。

また今回は、ゲームの途中にストライクゲームを皆様で同時に行っていたり、緊張感に包まれた雰囲気の中見事10名の方がストライク賞球を獲りました。チーム間わず投球のハイタッチが数多くみられ、交流を深めることができました。

■チーム優勝
りそな銀行
西村様・山本様
村野ソーシャルワーカー
桃山台コミュニティ
石川キヤブテン

■チーム準優勝
真子様 岡本様
福祥福祉会法人本部
加藤常務理事
豊泉家ヘルスケア治療院

■男子個人優勝
福祥福祉会営業本部
村野ソーシャルワーカー

■女子個人優勝
豊泉家ヘルスケア治療院
延山さん

■男子ベストクロス賞
SG本部
日野管理本部長
女子ベストクロス賞
桃山台コミュニティ
吉武ケアワーカー

記者：石倉 慎也

住之江コミュニティプラザEで活躍の橋本秀明CWに5月2日、めでたく第二子男児が誕生しました。

お名前宗典(しゅうすけ)くん、お兄さんと共に今日もすくすくと成長されています。

「2人目ということで父親としての慣れもあるのか、産まれた瞬間から、より深く我が子を想う気持ちが芽生えてきた」と喜びの声を聞き取ることができました。

本当におめでとうございます。

記者：石倉 慎也

6月30日〜7月1日 豊泉家コムレイズ 秋季大会準備台宿

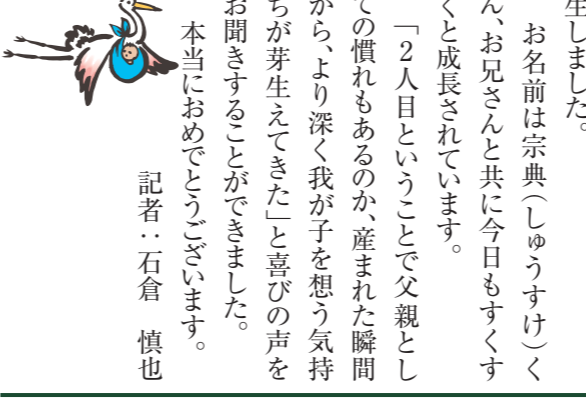
豊泉家コムレイズで秋季大会の準備をするため六甲山荘にて台宿を行いました。

合宿当日は雨が凄く、六甲山荘に向う道も濃霧で、一時はどうなるかと思いましたが、会場に着くと雨はやみ、霧があつたおかげで虫が少なくなつて快適な環境でした。合宿の内容は、春季大会の反省、新入部員の紹介、秋季大会レギュレーションの選定、今後の活動内容など自身の濃いミーティングを行いました。

その後、加藤監督からサブライズで第1回「監督賞」の授与が行われ、横川選手兼助監督が選ばれました。

その後はB・Q・卓球大会と楽しみ、新入部員とも交流ができ、7月22日の秋季大会へ向け結束力を高め、有意義な合宿が行われました。

記者：石倉 慎也



フェロークラブ 慶弔のお知らせ

8・9月行事案内
8月3・4(金・土) 新北島町内会盆踊り出店
8月4・5(土・日) 豊中まつり出店
8月17・18(金・土) R&D研究発表会
8月25・26(土・日) ファミリー交流会
9月17(月) 百歳クラブ「名豊会」